

## 茶経営の安定化に向けた栽培技術支援

対象者 甲賀市信楽町 K氏

### 【普及活動のねらい】

K氏は、信楽町朝宮地域で平成29年度から茶栽培について学ばれ、昨年からは本格的に茶業経営を開始されました。

しかし、防除や荒茶製造をはじめ、茶園管理で重要となる整枝作業などの経験が少なく、自分の判断で実際に作業を行う際には、戸惑われることが多々ありました。そこで、効果的な防除を行うために年間防除暦の作成や病虫害の発生に合わせた防除方法、基本となる荒茶製造、整枝技術の習得等をねらいとして活動しました。

### 【普及活動の内容】

#### (1) 年間防除暦の作成および防除技術の習得支援

K氏が管理されている茶園の病虫害の発生状況に合わせた防除暦の作成方法や農薬の選定、防除法、防除適期の判断法について説明しました。

そして、定期的にK氏とともに現場で病虫害の発生状況を確認することで、発生予察能力の向上とともに防除適期の判断方法の習得を支援しました。

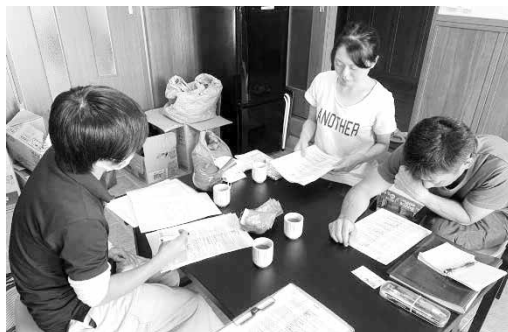
#### (2) 製造技術の指導

煎茶の製造で行われる蒸し工程は、品質を左右する重要な工程です。この蒸し工程を中心に、現地でK氏と慎重に確認しながら製造し、適切な蒸し度合いが判断できるよう指導しました。

また、製茶における不具合の発見や対策の実践が円滑にできるよう、製造処方に係る対策資料を提供し、製造に関する理解と技術の向上を図りました。

#### (3) 秋整枝技術の指導

茶栽培で重要となる秋整枝について、整枝を行う位置と適期について説明するとともに、実際に現地で整枝作業を行い、位置を確認指導することで技術の習得を図りました。



防除体系および整枝技術の説明



工場での製造技術指導

### 【普及活動の成果】

年間防除暦の作成とともに適期防除を実施することができ、病虫害被害が抑えられました。その結果、次年度の一番茶にとって重要となる秋芽の生育を確保でき、秋番茶の荒茶収量も昨年と同程度（10aあたり約90kg）収穫することができました。K氏は着実に基本的な栽培技術を習得されてきており、次作の一番茶の収量向上が期待されます。また、令和2年度滋賀県荒茶品評会において一等三席の上位入賞を果たされ、K氏は製造技術の面での自信を深めるとともに今後の取組意欲の向上につながったものと思われます。